

第11回お庭の生きもの調査2025 9月速報

結果概要

- 2025年9月の調査では、2つの調査で合わせて全14目41科52種が確認されました。
- 8月よりも14種減りましたが、16種が新たに報告されました。
- ミノガの仲間やスズメガの仲間などチョウ目の幼虫の報告が多い特徴がありました。
- コオロギの仲間とショウワリョウバッタ、カタツムリ・ナメクジの仲間は、はじめてのお庭の生きもの調査でのみで確認されました。
- スズメやニホントカゲ、ヤマトシジミなど、春から秋にかけて安定してみられる種がわかつてきました。



写真 チャミノガ（幼虫）
調査員提供



写真 ヤマトシジミ
調査員提供

調査の目的

個人宅の庭を訪れる生きものを定点で観察し、そのデータを収集することで、生物多様性の現状把握と保全・回復のための施策立案の基礎データとして活用すること。

調査の概要

- 調査期間： 2025年9月1日～30日
- 調査員登録数： 68件（2025年10月10日時点）
- 調査庭数： 10庭
- 報告件数： 90件

表1 都道府県別調査員登録数

北海道	0	東京都	17	滋賀県	1	香川県	2
青森県	0	神奈川県	2	京都府	1	愛媛県	0
岩手県	0	新潟県	0	大阪府	3	高知県	1
宮城県	2	富山県	0	兵庫県	0	福岡県	1
秋田県	0	石川県	0	奈良県	2	佐賀県	0
山形県	0	福井県	1	和歌山県	1	長崎県	2
福島県	1	山梨県	4	鳥取県	0	熊本県	0
茨城県	4	長野県	2	島根県	0	大分県	1
栃木県	1	岐阜県	1	岡山県	0	宮崎県	0
群馬県	2	静岡県	1	広島県	0	鹿児島県	0
埼玉県	6	愛知県	3	山口県	0	沖縄県	0
千葉県	4	三重県	1	徳島県	1	合計	68

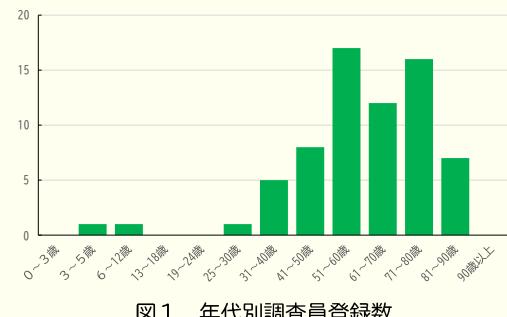


図1 年代別調査員登録数

お庭の特徴

- 平地にあるお庭が多いです。
- 日当たりがよいお庭が半分以上を占めています。

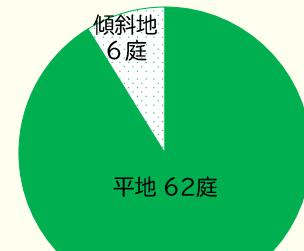


図2 お庭の立地

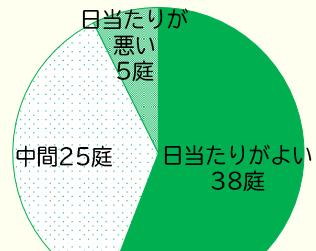


図3 お庭の種類

お庭の生きもの調査 調査結果

結果概要

- 全14目38科49種が確認されました。（表2）
- 分類群単位では昆虫類の種数が最も多い、次に鳥類・爬虫類が多かったです。（表2）
- 昆虫類ではチョウ目の報告が多く、とくに幼虫の報告が寄せられました。（表3）
- 鳥類と爬虫類は報告される種が固定化されており、春から秋にお庭をよく利用する種がわかつてきました。（表4・5）

表2 各分類群の報告種数

分類群名	目数	科数	種数
ほ乳類	0	0	0
鳥類	2	4	4
両生類	1	1	1
爬虫類	1	3	3
昆虫類	9	29	40
甲殻類	1	1	1
その他	0	0	0
合計	14	38	49

表4 鳥類の種一覧の報告件数

目名	科名	種名	合計件数
ハト	ハト	キジバト	2
スズメ	シジュウカラ	シジュウカラ	1
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	2
	スズメ	スズメ	3
2目	4科	4種	8

表5 爬虫類の種一覧の報告件数

目名	科名	種名	合計件数
有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	1
	トカゲ	ニホントカゲ	1
	カナヘビ	ニホンカナヘビ	1
1目	3科	3種	3

※ 網掛け（緑色）… 2025年度初確認の種

調査の概要

- 調査期間： 2025年9月1日～30日
- 調査庭数： 9庭
- 報告件数： 98件
(2025年10月10日時点)



写真 イラガ（幼虫）
調査員提供



写真 ツマグロヒョウモン（幼虫）
調査員提供



写真 セスジスズメ（幼虫）
調査員提供



写真 (ヒガシ) ニホントカゲ
調査員提供

はじめてのお庭の生きもの調査 調査結果

結果概要 (図4)

- ・ 黄色いアゲハチョウの仲間、アリの仲間、クモの仲間が2庭両方で見られました。
- ・ 次いで、オンブバッタやトンボの仲間などを見た報告が1件ずつでした。
- ・ コオロギの仲間とショウワリョウバッタ、カタツムリ・ナメクジの仲間は、この調査のみで確認されました。

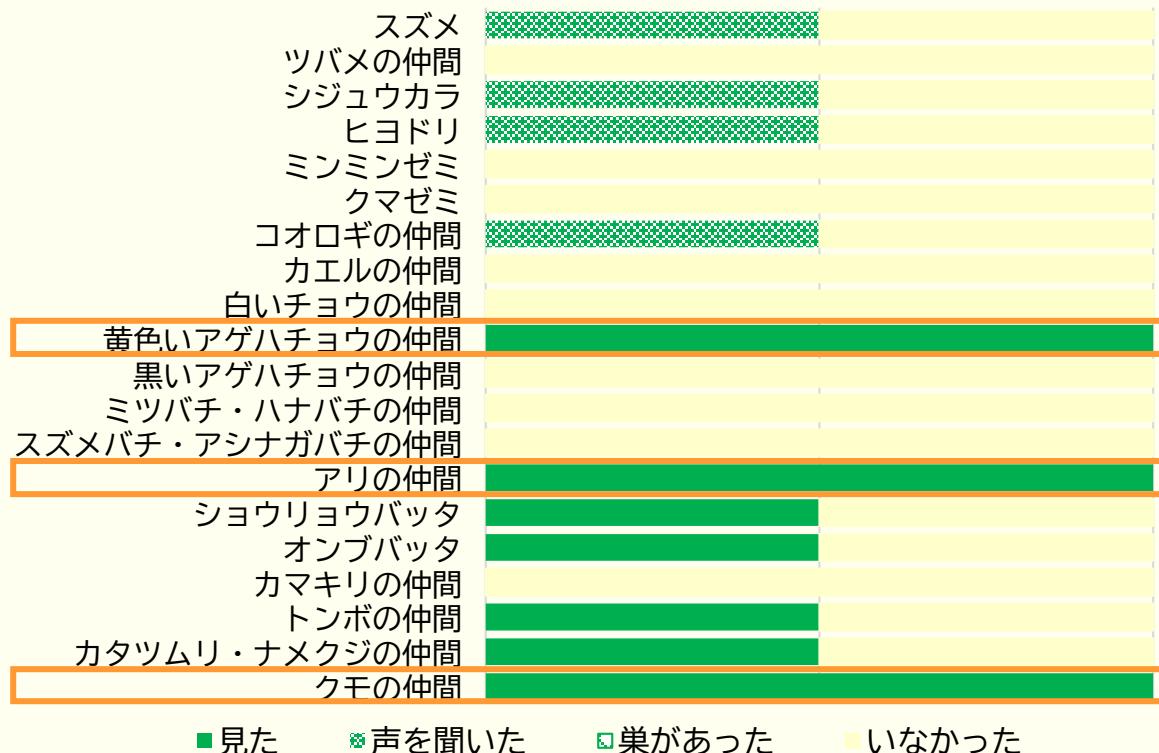


図4 はじめてのお庭の生きもの調査 各調査項目の報告内訳

調査の概要

- ・ 調査期間： 2025年9月1日～30日
- ・ 調査庭数： 2庭
- ・ 報告件数： 2件
(2025年10月10日時点)



写真 (ナミ) アゲハ
「はじめてのお庭の生きもの調査」入力フォームより



写真 トビイロケアリ
「はじめてのお庭の生きもの調査」入力フォームより



写真 オンブバッタ
調査員提供



写真 オカメコオロギ類の一種
「はじめてのお庭の生きもの調査」入力フォームより